

山麓の構成資産巡る

富士宮県がモニターツアー

富士山
つなぐ世界遺産

県は23日、世界遺産富士山の山麓を巡るモデルコースのモニターツアーを富士宮市内で開いた。一般参加者向けは初開催。県内外の19人が構成資産などを見学し、富士山信仰への理解を深めた。世界遺産に登録された富士山の本体だけでなく、周辺の構成資産と一体となった魅力を感じてもらおうと実施

した。富士宮市街地の県富士山世界遺産センターを見学した一行は、近くの構成資産・富士山本宮浅間大社を訪れた。「市観光ガイドボランティアの会」のメンバーの解説に耳を傾けながら、参道や本殿湧玉池などを見て回った。昼食は大社周辺で富士宮やきそばを味わった。

構成資産の山宮浅間神社、人穴富士講遺跡、白糸ノ滝も巡った。参加者は各自、SNSを



境内を巡るツアー参加者ら＝23日午前、富士宮市の富士山本宮浅間大社

使って情報発信もする。

参加した水口浩子さん(58)＝沼津市＝は「富士山は眺める山で生活の一部という認識だった」と思いを新たにしていた。

2019年3月24日
朝刊

①富士山本宮浅間大社と国における、山頂の所有権法的闘争の経緯を調べ、考えを述べよ。

②富士山信仰の歴史を調べよ。

③世界遺産富士山と構成資産を利用した地域振興策を創出せよ。

年 組 名前